

令和5年4月26日

報道機関各位

新潟県小千谷市役所
小千谷市城内2丁目7番5号

図書館等複合施設の愛称を募集します

令和6年6月のオープンを目指して、本町1丁目に図書館を中心としたさまざまな機能が融合する複合施設の整備を進めています。施設的设计段階から、対話の場として、小千谷リビングラボ「at! おぢや」を立ち上げ、市民のみなさんと共に考え、共に創ることを大切にしています。

この施設が「賑わい・交流・憩い」の場として、まちに活気を生み出す新たな拠点になるとともに、いつの時代も多くの方々に親しまれる施設となるよう、愛称を募集します。

■施設概要 ※実施設計時点

- ・施設機能／図書館、郷土資料スペース、子どものあそび場（屋内広場）、ダンス・音楽スタジオ、ものづくりスペース、企画展示・発表の場、カフェ、屋根付き屋外広場、屋上広場など
- ・階層・構造／地上1階建（一部2階建）、鉄骨造＋鉄筋コンクリート造
- ・延床面積／4,628.37㎡（屋根付き屋外広場を含む）

■応募資格

どなたでも応募可（ただし、1人3点まで）
※18歳未満は保護者の同意が必要

■募集期間

4月20日（木）～5月31日（水）（必着）

■愛称の基準及び条件 ※次のすべてを満たすもの

- ・施設の目的や特性がイメージできるもの
- ・わかりやすく親しみやすいもの
- ・複合施設全体で一つの愛称であること
- ・自作で未発表のもの

■応募方法

- ・応募専用フォーム（小千谷市ホームページ）
- ・応募用紙（市内公共施設に設置する応募箱へ投函、応募先へ郵送、ファクス・電子メールで送信）

■選定方法

選定委員会において最終候補作品4点（一般応募：3点＋小千谷リビングラボ「at! おぢや」での創作及び選出：1点）を選定し、その中から市長が最優秀賞（採用作品）1点を決定

■賞

最優秀賞受賞者には、賞金5万円と記念品（地元特産品）を贈呈

■結果発表

市の広報誌及びホームページ等で発表し、オープニングセレモニーにて表彰



詳しくは、小千谷市ホームページをご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市にぎわい交流課 担当／土田・高橋（悦）
TEL：0258-82-2724 FAX：0258-82-8915 E-mail：tosyo-y@city.ojiya.niigata.jp

令和5年4月26日

報道機関各位



新潟県小千谷市役所
小千谷市城内2丁目7番5号

株式会社カインズと災害時における物資の供給に関する協定を締結

小千谷市と全国に店舗を構えるホームセンター 株式会社カインズは、災害時における物資の供給に関する協定を締結しました。

◆ 締結日

令和5年4月19日

◆ 協定内容

災害時における市民生活の安定を図るため、日用品など生活物資の供給協力に関する事項について定めるもの。

◆ 協定締結の状況

小千谷市は、大規模な災害に備え、官公庁や民間企業など、あわせて37件の協定を締結しています。

今後も、災害時に有効な協定の締結を進め、受援体制の強化を図ります。

本件に関するお問い合わせ先 / 小千谷市防災安全課 担当/堀澤・篠田

TEL : 0258-83-3515 FAX : 0258-83-2789 E-mail : bousai@city.ojiya.niigata.jp

令和5年4月26日

報道機関各位



新潟県小千谷市役所
小千谷市城内2丁目7番5号

「宅地開発支援事業補助金」リニューアルしました！

小千谷市内において宅地開発を行う事業者への補助金です。
より使いやすい補助金にリニューアルしました。市外の事業者にもご利用いただけます。

◆主な変更点

対象要件：農振白地地域内1団地2,000平方メートル→1,000平方メートルに緩和
補助対象経費：用地測量費、計画図等作成費を追加

◆補助金額／1事業 上限2,000万円

※ 補助対象経費の1/2以内

◆補助対象者／小千谷市内において宅地開発を行う事業者

※ 市外の事業者もご利用いただけます。

◆主な対象要件／下記の①または②で、いずれも分譲区画面積1区画平均60坪以上

①小千谷市立地適正化計画における居住誘導区域内の土地で、1団地3戸以上の宅地

②農業振興地域白地地域内の土地で、**1団地1,000平方メートル以上**の団地

◆補助対象経費

- ・ 取付道路及び区域内道路の新設、改良、舗装工事費
- ・ 消雪用井戸削井及び消雪パイプ敷設工事費
- ・ ガス本支管及び水道配水管敷設工事費
- ・ 下水道管敷設工事費
- ・ 諸経費（上記直接工事費の10%以内）
- ・ **用地測量費、計画図等作成費**

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市建設課都市整備室 担当／長谷川・田中
TEL：0258-83-3514 FAX：0258-83-2789 E-mail：kensetu-tk@city.ojiya.niigata.jp

令和5年4月26日

報道機関各位



新潟県小千谷市役所
小千谷市城内2丁目7番5号

「錦鯉柄の吹き流し」完成お披露目会を開催

東日本高速道路(株)新潟支社長岡管理事務所のご協力により、高速道路の路肩に風の向きや強さをドライバーが目視で判断できるよう設置されている「吹き流し」を、錦鯉柄にデザインし製作していただきました。下記のとおり、完成お披露目会を開催します。

【完成お披露目会】

- ◆日時／4月28日（金）午前10時～（概ね1時間）
- ◆会場／錦鯉の里（城内1-8-22）
- ◆主催／東日本高速道路(株) 新潟支社 長岡管理事務所
- ◆デザイン／公立大学法人 長岡造形大学
プロダクトデザイン学科 4年 功刀 鈴花 様
- ◆お披露目会の内容／「錦鯉吹き流し」お披露目除幕式
長岡造形大学生への感謝状及び記念品の贈呈
北保育園児による吹き流しの掲揚ほか

【高速道路への掲揚】

- ◆掲揚場所／関越自動車道 堀之内 IC ～ 長岡 JCT 6箇所
北陸自動車道 長岡 JCT ～ 栄スマート IC 6箇所
- ◆掲揚期間／4月28日（金）～5月14日（日）まで
（以降の掲揚期間は未定）
- ◆デザインイメージ



本件に関するお問い合わせ先／

- ・東日本高速道路(株)新潟支社 長岡管理事務所 総務担当課長／阿部
TEL：0258-46-5751（代）
- ・小千谷市にぎわい交流課 担当／大平・近藤
TEL：0258-83-3512 FAX：0258-83-0871 E-mail：nigiwai@city.ojiya.niigata.jp

令和5年4月26日

報道機関各位



新潟県小千谷市役所
小千谷市城内2丁目7番5号

「牛の角突き」初場所を開催

国の重要無形民俗文化財に指定されている伝統習俗「牛の角突き」初場所が小千谷闘牛場で開催されます。

体重1トンを超える牛が熱戦を繰り広げる迫力満点の「牛の角突き」をご覧ください。

■主催

小千谷闘牛振興協議会

■開催日

5月3日（水・祝）

■開催時間

正午～（雨天決行）

■会場

小千谷闘牛場（小栗山：東山小学校近く）※無料駐車場有り

■入場料（※中学生以下は無料）

2,000円

※入場券は当日販売のみとなります。

■シャトルバス（片道500円）

11:20 イオン発～11:30 サンプラザ～11:35 小千谷駅～11:55 小千谷闘牛場

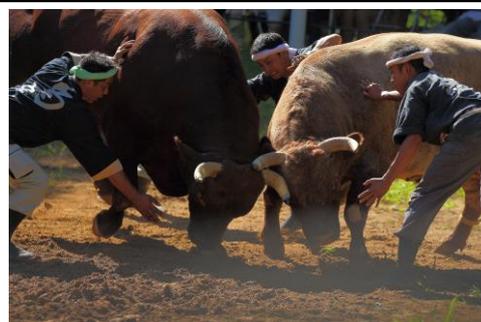
※取組終了後、逆ルートで走行

■今後の開催予定日

6月4日（日）、7月2日（日）、8月13日（日）、9月3日（日）、10月1日（日）、11月5日（日）

■その他

- ・大型バス等にて団体でご来場される場合は、事前申込みが必要です。
- ・開催日には、県指定文化財「木喰観音」を拝観できます。
- ・今後の状況により、開催内容に変更が生じる場合があります。



本件に関するお問い合わせ先／小千谷市にぎわい交流課観光係 担当／小林・近藤

TEL：0258-83-3512 FAX：0258-83-0871 E-mail：kanko@city.ojiya.niigata.jp

令和5年4月26日

報道機関各位

新潟県小千谷市役所
小千谷市城内2丁目7番5号**「信濃川クリーン作戦」を実施します**

信濃川クリーン作戦は、「河川愛護」の精神で、河川美化活動と豊かな自然環境づくりを目的に実施される河川清掃活動で、令和5年の今年は33回目になります。

この作戦は、国土交通省信濃川河川事務所が主体となり、信濃川沿線の市町村、砂利組合、愛護団体などが参加します。小千谷市もこの趣旨に賛同し、多くの職員が作戦に参加しています。

令和2年度から4年度までは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しておりましたが、今年は下記の日程で実施します。

◆日時

5月19日（金） 午後1時30分～3時30分（雨天決行）

◆実施箇所

信濃川左岸（越の大橋下から長岡市境まで）

◆参加予定人数

50人程度 ※小千谷市職員のみ

◆令和元年度（前回）実績

- ・参加人数 53人
- ・収集したゴミの数量
可燃ゴミ 15kg
不燃ゴミ 290kg

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市建設課管理克雪係 担当／小片・山田

TEL：0258-83-3514 FAX：0258-83-2789 E-mail：kensetu-kr@city.ojiya.niigata.jp

令和5年4月26日

報道機関各位



新潟県小千谷市役所
小千谷市城内2丁目7番5号

洪水発生時初期対応訓練を実施

小千谷市では、信濃川出水時の一級河川茶郷川樋門操作及び関係機関との連絡、連携体制を確認し、出水時のスムーズな出動体制移行を図ることを目的に、令和元年に発生した台風第19号の教訓を活かした訓練を行います。

■洪水発生時初期対応訓練

- ◆日時 5月18日(木)午後1時30分～3時30分(予定)
- ◆訓練場所 茶郷川樋門(三仏生地内小千谷大橋西詰付近)
信濃川左岸堤防(元町地内)
市役所(建設課)ほか
- ◆訓練内容 情報伝達訓練、排水ポンプ車・照明車配置訓練、茶郷川樋門操作模擬訓練
- ◆主な実施方法
 - ・小千谷市建設課と樋門操作現場との無線連絡による樋門操作及び排水ポンプ車による茶郷川から信濃川への排水を実施する。
 - ・樋門操作訓練は、信濃川逆流時の樋門全閉から通常の全開に戻すまでの一連操作の模擬訓練とする。
- ◆訓練参加者 小千谷市、国土交通省信濃川河川事務所越路出張所、新潟県長岡地域振興局小千谷維持管理事務所、信濃川左岸土地改良区、農林水産省信濃川左岸流域農業水利事業所
- ◆その他 小雨の場合は実施する予定です。

※小千谷市対策本部長(小千谷市長)は、午後2時頃から茶郷川樋門付近に参加予定。

本件に関するお問い合わせ先/小千谷市建設課管理克雪係 担当/山田・佐藤(公)
TEL: 0258-83-3514 FAX: 0258-83-2789 E-mail: kensetu-kr@city.ojiya.niigata.jp